



どっしりとした山容が印象的な越後駒ヶ岳



しおりとうげ
枝折峠付近の紅葉

頂上の手前には駒ノ小屋があるので、1泊しての登山も人気で、越後三山を縦走するためには必須の宿泊地点となります。ここまで来ると頂上は目の前です。苦勞して辿り着いた頂上からは、中越地方の山々や魚沼平野などの大パノラマが楽しめます。

越後駒ヶ岳の東側一帯は、ブナ、ミズナラなどの原生的な天然林が広がっており、中越森林管理署では、平成13年に、この自然豊かな越後駒ヶ岳周辺の国有林を、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことなどを目的に「緑の回廊越後線」の一部として指定し、動植物の保護等に努めています。

是非、大パノラマが展望できる越後駒ヶ岳を堪能してみてください。きっと何度でもチャレンジしたくなる山の一つになると思います。

(中越森林管理署 広報広聴連絡官)

平成21年にNHK大河ドラマ「天地人」の舞台にもなった新潟県の「八海山」は、越後三山又は魚沼三山（八海山・越後駒ヶ岳・中ノ岳）と呼ばれる山群の一つですが、今回紹介する「越後駒ヶ岳」は、その八海山から中ノ岳を経た東方約5^{km}に位置する標高2,003^mの山です。

越後駒ヶ岳は、山容のすばらしさと豊富な高山植物で人気があり、登山者も多い山です。

登山ルートで一般的なものは、新潟県魚沼市の枝折峠から明神尾根を経て山頂に至るコースで、このほかに秘湯駒ノ湯から小倉山を経由するコースも人気があります。

枝折峠から越後駒ヶ岳山頂までは、登りで5時間程ですが、中間地点の小倉山（標高1,378^m）に着くと、眺望が開けて周辺の山々が見渡せます。ここからは緩やかな登りが続き、しばらくすると「百薬ノ池」があり、この池の周りに咲き誇るハクサンコザクラなど数々の高山植物は登山者の疲れを癒してくれます。



百薬ノ池周辺に咲くハクサンコザクラ



標高2,003^mの山頂(後方には八海山)